



立志

令和7年12月1日(月)発行
学校便り第15号
南城市立玉城中学校
文責 校長



学校教育目標：「自ら学び自ら考え」「心豊かに実践する」「たくましい生徒」の育成

修学旅行

11月23日から11月25日までの2泊3日の日程で3年生の関西への修学旅行が実施されました。インフルエンザの流行や京都の観光客の多さ等が心配されましたが、予定通りに旅行の行程を実施することができました。生徒からは「とっても楽しかった」等の声が聞かれ、満足感を得た、よい修学旅行となりました。参加した生徒全員、最後まで旅行の行程を実施することができ、中学校生活の良い思い出になったと思います。修学旅行の取り組みや旅行中の体験を通して、生徒は大きく成長しました。これからの生活に活かされることでしょう。空港への送迎や旅行費用の工面、生徒の健康管理など保護者の皆様のご協力に感謝いたします。



職場体験学習

11月19日から21日までの3日間の日程で2年生の職場体験学習を実施しました。生徒達は49の事業所に分かれ、それぞれの探求テーマを持って、生き生きと活動に取り組みました。働くことの意義やそこに働く人々の想いを感じることができたと思います。体験したことは今後の生活に活かされるものと思います。ご協力いただいた多くの企業、団体、職場、関係者の皆様に感謝申し上げます。



カフェやぶさち

知念漁業協同組合

百名伽藍

守礼カントリークラブ

板馬養殖センター

地区音楽発表会

11月28日に島尻地区音楽発表会が豊見城市立中央公民館で開催されました。本校からは3年2組が学校代表として学級合唱の部に出場しました。3年生は修学旅行から帰った直後で、参加に向けての調整が難しかったと思いますが、会場にいい歌声を響かせていました。また、独唱の部に野原さん、学校合唱の部には参加希望者を募り、1・2年生主体のチームで出場しました。各学校代表の合唱はどれも素晴らしく、生徒はいい刺激を受けたことと思います。今後も様々な体験活動を推進していきます。



学級合唱の部

独唱の部

学校合唱の部

非暴力コミュニケーション

11月25日に外部から講師を招き、1学年で非暴力コミュニケーションの特別授業を各学級で行いました。非暴力コミュニケーションとは対立を解消し、よりよい人間関係を築くための方法で、相手と自分のニーズを同時に大切に、共感的な対話を通じて相互理解を深めることを目的としています。生徒は、講話や実習を通して「相手と対立せず、うまくコミュニケーションをとるにはどうしたらいいのか」深く考えることができました。特別授業の実施にあたってご協力いただいた講師及び関係者の皆様に感謝申し上げます。



不審者対応・避難訓練

校内に不審者が侵入したときの対応と避難の訓練を11月12日に与那原警察署の職員を迎え実施しました。不審者を発見したときの対応の仕方、校内への連絡と連携、警察への連絡、生徒の避難と安全確保等、実際の場面を想定して訓練を実施しました。訓練終了後は、生徒全員で訓練の振り返りをしながら、与那原警察署職員からのお話を聞いて、不審者から身を守るにはどうしたらいいのか確認しました。今後も安全・安心な学校の運営に努めて参ります。



不審者へ対応する本校職員



与那原警察署員からの講話